



第1560回例会報告

平成30年 7月 19日 (木) 晴れ

会長告知

会長 北原 厚子

☆幹事報告

【報告事項】

今月の理事会報告は7月26日に報告させていただきます。

【連絡事項】

1: 地区より「平成30年7月豪雨」義援金の依頼がありました。理事会に諮り1000円X38名の振り込みを本会計より支出します。また、別途諏訪湖RCとして50万円を目標として義援金を募りますのでご協力をお願いします。

2: 国際ロータリー長期及び短期の青少年交換学生の募集が来ています。応募される方は会長幹事まで申し出てください。

3: ダメゼット募金11936円集まりました小松会計さんより振り込みをします。

【受領文書】

1: 大津RCよりクラブ計画書とウィークリーが来ています。

2: 塩尻北例会会場の変更文書が来ています。

「信濃の国」を歌い継ごう

「信濃の国」の県歌制定50周年を迎え、県は今年度、記念事業「未来へつなごう！信濃の国」を実施し、歌に鶴しんでもらう機会を作るとしています。先日合庁に所用があり電話をしましてところ、電話の保留音に信濃の国のメロディーが流れてきました。当然ですが、県庁でも信濃の国が保留音として使われているそうです。



この「信濃の国」は1899(明治32)年に県師範学校教諭浅井冽氏が作詞、翌年に同校教諭の北村季晴氏が作曲しました。県歌に制定されたのは、1968年(昭和43)年5月20日でした。私が「信濃の国」を覚えたのは小学校の何年生の時だったか定かではありませんが、最初は意味もよくわからずに歌っていました。冒頭の「十州」を越後から上野、武蔵、甲斐、駿河、遠江、三河、美濃、飛騨、越中と、きちんと覚えたのは中学生の時だったでしょうか。県外に出ると、長野県出身者の絆を再確認する歌として、他県出身者にも知られた存在ですが、県内に住んでいると、大人になって歌う機会はありません。1番から6番までの歌詞も最後の方はほとんど忘れてしまい、正確に覚えておらず長野県民として情けないと思いました。県内の小学校で、「信濃の国」を歌う機会のある学校は93.9%わずかながらも歌う機会のない学校があることが、気にはなりますが、多く子どもたちが小学校時代に歌っていることに安心しました。

大人になって県外へ出ていくことになっても、「信濃の国」を耳にすれば、懐かしい思い出がよみがえることもあるでしょう。そのときは、声に出して歌ってほしいと思います。次の50年、そして100年と長野県民としての誇りを持ち、歌い継がれていくと確信しております。

ロータリーにも歌い継がれてきた歌があります。「奉仕の理」「我らの生業」「それでこそロータリー」「手に手つないで」、「四つのテスト」。どの歌もロータリーのこころを歌っているもめだと思わず。

これから先もこの歌が、多くのロータアンに受け継がれていくことでしょう。そして、これらの歌に込められた先人のロータリアンの心を大切に受け継いで行けなければならないと思いを新たにしました。

♪出席報告		♪ニコニコBOX		♪今週のことば	
会員数	38人	名	円	会長方針にもあります。当クラブの先輩の話！	
出席対象	38人	累計	70,000円	本日はありがとうございます。渡辺さん宜しくお願いします。	
出席者数	27人	目標額	60万円	萩田 均	
出席率	71.1%	達成率	11.6%		
前回修正	81.5%				

諏訪湖浄化のあゆみ 社会奉仕委員会 渡辺芳紀



5周年 5周年 明日の諏訪湖ロータリーを考える提言
 ロタリーを考える委員会

～各方面で進められている諏訪湖浄化への具体的取り組みを評価すると共に、5周年を迎えるに当たり、私達の名称「諏訪湖ロータリークラブ」は、諏訪湖の存在なくしては命名され得なかったことも想起し、諏訪湖浄化、自然の回復といった課題に何らかの形で取り組み研究していったらどうでしょうか。この課題で即効性のある解決方法を見つけることは困難ですが、敢えて今後長期にわたり、「諏訪湖ロータリークラブ」が常に影響する“心”の原点として、このテーマを提言します。

原点としての諏訪湖浄化活動が始まりました

諏訪湖浄化運動

- ①諏訪湖・流入河川へのゴミ投棄の禁止
- ②合成洗剤の使用禁止
- ③暖房等家庭雑排水の垂れ流し禁止
- ④工場排水の垂れ流し禁止
- ⑤浄化槽の管理普及
- ⑥浄化槽の普及
- ⑦浄化槽の普及
- ⑧浄化槽の普及
- ⑨浄化槽の普及
- ⑩浄化槽の普及

① 個人で出来ること
 ② 家庭で出来ること
 ③ グループで出来ること
 ④ 企業・事業者ができること
 ⑤ 行政がしなければならないこと
 ⑥ 教育で出来ること

下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会参加
1990年～2016年

1980年設立	下諏訪青年会議所	酒費者の会	婦人会	産生自治会	他
1981年	60団体				
1990年	諏訪湖ロータリークラブ参加				
2016年	76団体				

湖岸清掃 クリーン祭り参加

分区分活動の始まり
1990-91～1998-99 10年間

諏訪湖ロータリークラブ主管 IM
「我が街の環境を考える」
今ロータリーは何をなすべきか

諏訪分区分代理 御子柴剛衛 (諏訪湖)

パワロV、Cコスト財 会長は、「私達の天然資源を守るための保全ある十字軍に全ロータリアンが駆けつけろー」が叫びました。この十字軍を始める為に、あらゆるロータリアン、あらゆるクラブに「地域の力を結集し、自然保護を目指すプロジェクトを遂行するよう」要請しました。ロータリーの自然環境保護の努力の核心は、環境への理解を深めることです、と呼びかけました。

19期内部勉強会 河川・森林・里山整備への取り組み

湖から里山へ 諏訪湖浄化の課題
里山整備は諏訪湖浄化に結びつく

19期 山村会館所有林に植樹開始
20期 同上所育林の手入れ
21期～25期 プラの植樹 整備の設置

小林強会館主催
ロータリーとして
地域の人々と
山林整備

諏訪市野地区
栗山地区
大和地区

諏訪湖ロータリークラブの歩み

期	立
提案期	1～5期
研究期	6～10期
元服期	11～15期
運動期	16～20期
海軍期	21～25期
成熟期	26～30期
?? 期	31～35期

マンネリ化・忍び寄る倦怠期
 海老原諒
 同じことの繰り返し、新鮮味がなくなり、慣性で動いている状況から、プロは脱する方法を知っている。自分に負けないと甘くなる。

35周年記念事業を
考えてみましょう

終わり

ご清聴ありがとうございました。



<<諏訪湖情報>>
 諏訪湖クラブ、沖野先生より報告がありました。
 現在行っている湊沖での観測（NANOバルブによる貧酸素解消実験）結果を速報として添付、報告します。台船設置時には底層での貧酸素状態は出現していませんでしたが、大雨直後には流入水が底層に入り、濁りが大きい状態を市川さんのカメラ（水中ドローン）でも確認、水温の状態からも推測できました。その後晴天日が続き、底層の濁りは取れて（沈下？）透視度は昨年と同様に良くなりましたが、酸素量は低下し、7月19日時点で、すでに貧酸素層が水深4m以深に形成されている状態を観測しました。・・・結果の概略は昨年夏の結果と同様です。表層は酸素の過飽和状態が解消に向かい、中層では酸素の低い層でプラスに働いていますが、短時間の結果ですので、底層にまで影響するまでの追跡はできていません。その後の天候の経過を見ると貧酸素層がさらに発達し、広域化していると推測しています。・・・